

(様式第4号)

上田市上野が丘公民館運営審議会 会議概要

1 審議会名	第2回上田市上野が丘公民館運営審議会
2 日時	平成30年1月30日 午後3時から午後5時まで
3 会場	上野が丘公民館 1階 第1学習室
4 出席者	吉池正敏会長、目黒正子副会長、井坪秀明委員、井出操委員、桜井記子委員
5 市側出席者	倉澤正上野が丘公民館長、大塚美穂主事、小林成子社会教育指導員、堀内不二夫社会教育指導員、
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成30年2月2日

協 議 事 項 等

1 開 会
2 あいさつ (吉池会長、倉澤公民館長)
3 協議事項
(1) 平成29年度事業報告について
・資料に沿い、大塚主事、倉澤館長、小林指導員、堀内指導員から公民館事業について概要を説明
・以降、協議
(委 員) 青少年事業生きる力を大切に活動が多い。中学生や大学生の協力も得られている。公民館の家庭への発信は学校も学ばなくてはいけない。
(委 員) 暮らしの中で、高齢者など多世代との交流も行ってほしいし、子どもの生きる力を引き出す事業を行ってほしい。
(委 員) 1週間30コマの授業に変わる時代、昔は自然に生きる力が子どもたちに身についたものだが、学校でやりきることはむずかしくなっており、意識して生きる力をつけることをやる必要で、公民館の活動に感謝している。
(委 員) 男性の入りやすい講座必要ではないか。地域づくり男性を引き込むこと大事である。学ぶことだけで終わりにするのではなく、学びから実践へ期待したい。
○協議結果：さらに充実した公民館事業に期待したい。
(2) 公民館重点目標について (倉澤説明、協議)
(委 員) 豊殿JA施設空き店舗利用し、地域福祉交流サロンを開設していく予定である。新しい地域の在り方、来る超高齢化時代に向け、0からのスタートである。公民館の活動にも期待している。
○協議結果：次年度に活かしてまいりたい。
(3) 平成30年度事業計画について(倉澤説明、協議)
(委 員) 子ども大学うえのがおかの大学との連携を進めてほしい。
○協議結果：次年度に活かしてまいりたい。
(4) 諮問案件について(倉澤説明、協議)
・「信州型コミュニティスクールと公民館の役割について」
・資料に沿い、中央公民館の状況等含め説明
・以降、質疑、協議
(委 員) コミュニティスクールと信州型どう違うのか。
(事務局) 文部省と長野県の違いを説明。
(委 員) 長野県の中でも、塩尻市はコミュニティスクールを進めており、1校あたり100万円支援されているところもある。
(委 員) 地域ボランティアの土壌があれば、それがいかされ継続されていく。
(委 員) 豊殿の安心地域づくりセミナーは17年行われてきている。組織継続。組織づくり準備必要。

○協議結果: 学校の取り組み状況を中央公民館のように調べ、その結果をお送りして委員に諮問の「コミュニティスクールと公民館の役割について」御意見御提案を賜り、それをまとめ再度公民館運営審議会を開催し、答申をまとめることになりました。

(5) その他 (倉澤説明)

- ・資料に沿い、説明